

秋田県

1. 商品名等

商品名	しいったけうめえカレー		
商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)		
	<p>秋田県産しいたけ×比内地鶏 =しいたけ(とっても)うめえ(美味しい)!</p> <p>世界遺産・白神山地の湧水で育った秋田県産の規格外しいたけと比内地鶏を使った具沢山なカレーです。肉厚なしいたけとジューシーな地鶏が味わえる、秋田県産の大ぶりの具材が魅力の商品です。</p> <ul style="list-style-type: none">・「第12回全国高等学校フードグランプリ」本選出場,「地域貢献賞」,「大塚食品『ビタミン炭酸マッチ』賞」受賞・「第2回みどり戦略学生チャレンジ」全国大会出場,「東北農政局次長賞」受賞		

2. 学校紹介

学校名	秋田県秋田商業高等学校	電話	018-823-4308
住所	秋田県秋田市新屋勝平台1番1号	F A X	018-823-4310
担当者	石田 雄哉	山崎 史織	渡辺 淳一
U R L	https://akisho.ed.jp/		
E-mail	aksg@akisho.ed.jp		
<p>秋田商業高校は、大正9年創立、令和2年度で100周年を迎えた、秋田県で唯一の単独商業高校です。2年生からコース制をとり、財務会計・管理会計を学ぶ会計コース、マーケティングを学ぶ流通経済コース、情報処理・プログラミングを学ぶ情報コースに分かれています。</p> <p>本校では、平成14年度からAKISHOPというビジネス実践を展開しており、生徒が地域の企業、商店等と連携し、SDGsを意識した商品開発から販売、会計処理までを行っている。商品開発の他にも、観光ビジネスを見据えた観光ツアーの実施、地元の生産者と協働した活動など、多様な活動を展開している。</p>			

3. 実施科目等

科目名	総合的な探究の時間	単位数	1単位
対象生徒	2・3年生	担当教員数	2名

4. 予算関係(費用)

全校生徒から集金したものと各種団体等からの補助金で、ビジネス実践全体を運営している。その運営資金から費用を支出している。

5. 開発経緯等

【商品開発経緯と開発の流れ】

- ① 課題を抱える秋田県に貢献する商品開発がしたいと考え、「産地廃棄規格外野菜活用によるフードロス削減・地元企業・地元貢献」にこだわることに決める。アイデアの創出・評価を行う。
- ② 秋田市公設地方卸売市場丸果秋田県青果株式会社に協力いただき、秋田県産規格外野菜の産地廃棄の現状を学ぶとともに、実食し、活用する野菜を絞る。
- ③ 秋田県農林水産部に協力いただき、秋田県産規格外野菜の中で特に課題である、「しいたけ」を使った商品開発と決定。
- ④ レンチナス奥羽伊勢に協力いただき、しいたけの産地廃棄の現状について学びを深める。
- ⑤ ノリット・ジャポン株式会社に協力いただき、商品企画・開発について学ぶとともに、試食・評価を複数回行い、連携企業と協議して味を決定。
- ⑥ 「幅広い世代の人に、秋田県産食材の魅力を伝えたい」という思いを込めてパッケージ・ネーミングを考案し、連携企業と協議して販売価格を決定。
- ⑦ 店舗販売による流通、生徒によるイベント等での販売。
- ⑧ 「～未来を創る～ 第12回全国高等学校フードグランプリ」に応募。取組を評価していただく。
- ⑨ 「第2回みどり戦略学生チャレンジ」に応募。取組を評価していただく。

6. 販売形態・期間

⑦

販売形態：通年店舗販売、生徒によるイベント等での販売。

販売期間：令和7年8月より秋田駅ビルで販売開始。県外でも販売を開始し、販路拡大中。

7. 協力者等

⑦

秋田市公設地方卸売市場丸果秋田県青果株式会社、ノリット・ジャポン株式会社、秋田県農林水産部、レンチナス奥羽伊勢

8. 商標登録の有無

⑧

9. 今後の課題・展望等

県外にも販路が拡大しており、ふるさと納税返礼品への活用も検討中。